

だいた。

9 関係文献

宮城県教育委員会『山王遺跡—多賀前地区調査概報』（一九九三年）

年）

菅原弘樹「多賀城周辺の様子」（日本歴史）五四四 一九九三年）

菅原弘樹「宮城県多賀城市山王遺跡」（日本考古学協会『日本考古学年報』四五 一九九四年）

（吉野 武）

今最も注目を集めている地方官衙遺跡の一つ、八幡林遺跡の一九九三年度の発掘調査の報告書である。本年九月の新潟特別研究集会でも現地見学を実施し、その記憶は未だに新しい（本誌本号彙報参照）。

木簡出土点数は既に一〇〇点を越え、国府より下のレベルの官衙遺跡としては、伊場遺跡に次ぐ点数を誇ることになった。本書には、一九九三年度調査の概要の他、本誌本号でもご報告いただいた同年度出土の七二点の木簡や、二九一点の墨書き器の報告が収められている。また、「長屋王家木簡」「二条大路木簡」以来注目を集めている封緘木簡については、特に一章を設けて記述がある。B5判 本文三四頁 図版四八頁。

申込先 和島村教育委員会

〒九四九一四五 新潟県三島郡和島村大字小島谷三四二二一

T E L ○二五八一七四一三一一一

頒価 一〇〇〇円（送料込）。現金書留か定額小為替でお申し込みください。

なお、『八幡林遺跡』第一集は増刷中。第二集は一〇〇〇円（送料込）

『八幡林遺跡』

（和島村埋蔵文化財調査報告書第三集）